



日本心臓ペースメーカー友の会 兵庫県支部 短信



2023-10 発行 No. 015

<2023年度上半期 (2023/04/01~2023/09/30) 活動報告>

① 2023年度 上期 兵庫県支部 理事会

第一回 開催日 2023年4月21日(金) 13:30~16:00 場所 尼崎小田北生涯学習プラザ

出席 小林、國富、瀬崎、中井、高橋、中津、宇喜多、奥田、登、田中

上期の活動方針と第26回兵庫県支部総会の役割分担について話し合いました。

第二回 開催日 2023年9月8日(金) 13:30~16:00 場所 尼崎小田北生涯学習プラザ

出席 小林、國富、高橋、中津、宇喜多、奥田、登

下期の活動(地区会、ひょうたん倶楽部等)方針について話し合いました。

② 2023年度 第26回 兵庫県支部総会 於いて尼崎小田北生涯学習プラザ

開催日時 2023年5月28日(日) 13:30~16:30

出席者30名(顧問2名 近畿ブロック各府県支部4名 会員21名 会員外1名 メーカー2名)



コロナ禍前の総会より少し参加者が少ない総会となりましたが、例年通りの質疑応答は活発に行われました。特にコロナ後の入会の方からの質問が多かった様です。

今回は出席がいただけないとあきらめていた、病氣療養中の小坂井顧問がサプライズで登場され、質疑応答にも従前のごとくお答えいただきました。驚きとともにただただ感謝感謝でした。小坂井先生ありがとうございます。))

又、今回無理を御願ひして、フクダ電子の三輪麗奈さんからペースメーカー全般のお話と遠隔モニタリング制度の説明がありました。若い方の説明はたいへん解りよく、質疑応答にも丁寧に答えていただきました。(フクダ電子の皆様、ありがとうございます。)

そのなかで、JADIA(日本不整脈デヴァイス工業会)のホームページでMRI検査を受けられる病院を調べられるとのことでした。後日、確認しましたが、確かに、MRI対応のペースメーカー装着の患者さんがMRIを施術できる病院名が公表されていました。

(参考にしてください)

久しぶりの総会で、懐かしい人にもお会いできてたいへん有意義な一日となりました。



③ 第56回 全国総会及び支部長会 於いて東京アルカディア市ヶ谷

(1) 全国支部長会 2023.6.23 12:00~2023.6.24 12:00

例年より少ない参加者だったように思います。懇親会の席上で、宮城県の寺島秀夫支部長が、且つて居合いをやっておられたと聞きました。兵庫県支部にも居合いをやっておられる方がいらっしゃいます。連絡をとられてはいかがでしょうか。

(2) 第54回全国通常総会 2023.6.24 12:00~

詳細は、会誌「かていてる」をお読みください。

兵庫県支部からは、たつの市の山下和重さんが参加されてました。

④ 近畿ブロック各支部総会

各府県支部共、3年ぶりの総会開催でご苦労されているようでした。

(1) 滋賀県支部 於いて ピアザ淡海（県民交流センター）

日時 4/23（日）10:30~ 田中、中井両理事を派遣しました

(2) 奈良県支部 於いて 福祉総合センター

日時 5/20（土）13:30~ 小林支部長を派遣しました

(3) 関西支部 於いて 千里中央病院

日時 6/11（日）13:30~ 小林支部長、登監事を派遣しました

(4) 京都支部 於いて 六地藏病院

日時 10/14（土）13:30~ 小林支部長、登監事の派遣を予定しています

⑤ 神戸地区集会 於いて 喫茶アマゾン（JR垂水駅前）

開催日時 2023年5月28日（日） 13:30~16:30

出席者14名（顧問1名 会員12名 付添1名）



今回は、趣向を変えてJR垂水駅前の「喫茶アマゾン」で開催しました。顧問の岡田先生にもご出席いただき、健康寿命を延ばす食事（肉類を食べる）等をお話しいただきました。いつもは、総会での質疑応答でのお話しか聞けませんでした。親しくご歓談いただきま

した。また、会員の皆様からは、近況報告などお話しいただき、特にMRI 検査を実際に受けられた方の話もありました。前日に阪神タイガースが18年ぶりのリーグ優勝を決めたこともあり大いに盛り上がりました。和やかな雰囲気、あっと言う間の2時間でした。

⑥ 短信No14発行 (2023/4/1付で、総会資料と共に発送しました。120通)

⑦ 誕生カード発行 (発行を今年も継続しています。)

⑧ 青い鳥はがき及び古切手の寄贈

2023/9末現在 585枚の寄贈がありました。その他、切手3153円分(能登さん、阿部さん寄贈)古いハガキ4905円分(筒井さん寄贈)がありました。古いハガキは94円切手に交換しました。

(2023/9/30までに寄贈いただいた方 24名)

小林重文、長澤好男、亀岡良子、西区・糀台、久保瀬愛美、横内久一、大垣瞭一、武田知里子、能登静恵、平出富美子、奥田征郎、筒井チエ子、高橋義幸、田中幸子、中井茂幸、中津圭子、前川和彦、亀岡良子、靱山綾子、登房子、小嶺さゆり、古賀義典、倉田明子、阿部國臣

<2023年度下半期(2023/10/01~2024/03/31)活動予定>

① 阪神地区集会 JR尼崎駅集合

日時 2023年10月29日(日) 13:30~16:30

場所 カフェ&レストラン ウェストリバー 会費無料

② 東播地区集会 JR加古川駅集合

日時 2023年11月8日(水) 13:30~16:30

場所 未定(駅前の喫茶店) 会費無料

③ 秋のひょうたん倶楽部(詳細は案内をご覧ください)

◎ 神戸 新開地体験ツアー

日時 2023年11月14日(火) 11:00~16:00

場所 神戸 新開地 喜楽館 会費 3500円

うりちゃんの冒険(二回目)

靱山綾子

いやな気持ちになりながら、よたよた走っていくと、わき道がなくなり、しげみもなくなって、広い道路にでた。あのくるまも、赤や、黒、黄いろなど、おどろくほどのかずに、うなりごえをたてて、うりちゃんのそばを走っていく。

くるまの中から窓をあけて、うりちゃんたちを見ている人間がいる・

「うわっ、人間だ・・あぶない！」

と、そのとき、わかっただけでもママより大きいくるまが通りすぎた。

「ドドドッ」

道路が地震みたいにゆれ、うりちゃんはわかっかの方にすいこまれて、倒れそうになった。

「ママ、もういやだよ、帰りたいよう」

「うりちゃん、きょうはがんばろうね！」

ママの声に兄ちゃん、姉ちゃんがうりちゃんをとりかこんで、ゆっくりと走りだした・

なんとか峠をこえると、見たことのない景色がわあっとひろがった。

遠くに大きくて青い、池みたいなものがあり、小さい箱がういている。

【あれは、【海】】とママがいった。

しばらくすると、たて型。横型のおおきな箱が目のまえにあらわれた。

四角い、ひかる目がきちんとならんで、うりちゃんをみつめている。

わっかはないけれど上に三角帽子のつけているものもある。

「あれななあに？」

「ああ、あの建物のことかい？マンションとかいって、人間のお家なんだよ」

「ぼくのうちとずいぶんちがうね、いばい目がある。」

「あれは目じゃない。大きい建物のなかを小さく分けて、家族ごとの家になっているんだ。目みたいだけれど、あれは窓なんだ。」

「人間って、いろいろなことを考えるんだなあ」

「そうだね、ママがうりちゃんぐらいな頃、大きな建物はこんなにはなかったよ、小さい家が道路沿いにならんでいて、くるまもすこしでね、イノシシの親子がピクニックに行くと、ああ、夏がきたんだ。今年はうりぼうが五頭だよ、可愛いね。元気に育つんだよ、応援してくれたし、くるまもイノシシが道路をわたりきるまで、止まってくれたものだ。あの頃はよかったなあ。でも、もうそんな時代じゃあないんだ！うりちゃん、自分を守って生きて行くんだぞ。強いイノシシになるんだぞ！」

「うーん、強いてって、どういうことなのかな？」

ママの話聞きながら、増えてきたくるまにも慣れたころ、谷川のせせらぎがきこえてきた。

「さ、ついたぞ！」

ママは、じょうずに堤防の坂を、たたたと、おりてゆく。

うりちゃんはころげおちそうになりながら、ママのまねをしてそろそろおりと、兩岸の緑の木立にかこまれた小川に出た。

ママとにいちゃんたちは、ざぶっととびこんで、水をとばしながら歩きまわって、いるでも、うりちゃんは、初めての小川にあとずさりしてうごけない。

（かわぞこの小石がきれいにできて、そんなに深くはなさそうだな。でも、あつというまに早い流れに、からだごともっていかれそうだ……）

少し足をつけてみたうりちゃん。

「キャッ、つめたいっ！」 すぐにあしをひっこめる。

そっと、あしをみずにつける、すぐひっこめる。なんどもなんどもやっている……

「なにしてんのさあ！」

ママが大声をはりあげて、横から体あたりをした。

いきなり横倒しに川へ突き落とされて、ざぶーんと、水しぶきが上がった。

うりちゃんは、目がくらみそうになるのをこらえて立ち上がろうとしたが、つるつるの小石に足をとられて立ち上がるどころか、体を起こすこともできないでいる。

「こわがってないで立ちなさい」

（さっきまでのママ、やさしいママはどこへいったの？）

足をバタバタさせながら、少しづつ流されていくのを見た兄ちゃんたちが、とんがった鼻で起こしてくれた。

イノシシの鼻は、ちからもちだ。

「ありがとう」

うりちゃんは、しばらく小川のなかで座りこんでいたが、さわがになってどんなものなの？ だれか教えてー』と。とほうにくれていた。

そのうちに、すべる小石に足をとられながらも、ヨチヨチと歩けるようになったときママ来て、さわがにを教えてくれた。

かわぞこを、そろそろと歩いていく二センチくらいの茶色のかにが、小石のかげにかくれて大きなはさみをふりまわしている。

（水のなかに鼻を入れたとたん、あれではさまれたら痛いだろうな！兄ちゃんたちは、い

たたっ！と言いながら食べてるよ。ぼく、お腹が空いてきたけれど、ほかに食べるものもないしなあ）うりちゃんは、ぼさーっとみずをながめていた。（つづく）

在宅医療の困難例

西川昌樹

世は挙げて高齢化時代に対処すべく、急速に増大する税負担に耐え乍ら患者家族のみならず、国民等しく（必ずしも平等とは言いかねるが）いつの間にか消費税の福祉への転嫁もなし崩しにされていると感じるのは、軍事費のみ突出する予算配分を見ると、あながち被害妄想とは言えないと思う。しかし、現在、介護保険事業の充実ぶりは、決して十分とは言えないものの、昭和45年に医師免許を授与されたわが身にとっては、眼をみはるばかりに素晴らしいと思う。

最近、私の担当する在宅患者について、些か感じ入る事例があったので報告する。

患者は50歳女性。筋強直性ジストロフィーに罹患していて、自力では寝返りも困難。当然ベッド上にて生活。排尿・排便もオムツ使用にて介助が必要。意識と会話は正常。既往歴は14歳時卵巣腫瘍手術。16歳子宮内膜症。19歳筋ジストロフィーを神経内科により確定診断。両親と姉との4人家族であったが5年前に母親がCOPDにて死亡。Heavy smokerであったが、在宅酸素の適応となっても、自室内での喫煙が我慢できなかった患者であった。母親亡き後は、父親が96歳で癌死するまで、高齢でありながら、勤めに出る姉娘（55歳）の留守中はオムツ交換などの世話をし暮らしていた。

偶然の経過から患者の卵巣腫瘍は私が勤務医であった時に診断したので、以後婦人科と神経内科との併診する形で経過を診ていたが、母親の重症化する頃から白内障と聴力障害が顕在化して、在宅療養が選択された。私は内科医として患者の往診を引き受けて、必要時入院加療などの指示と病院への橋渡しを担当して来た。在宅往診は2～4週間毎で事足りていた。2022年11月 高齢の父親が、担癌者であったが、死去。途端に二人暮らしとなった患者の姉にすべての負担がのしかかった。中京区の事務所に勤務する姉は介護支援事務所の協力を得て、毎日の生活を組み立てていたが、2023年2月、便秘を訴える患者の下腹部に腫瘤を蝕知。圧痛あり。卵巣腫瘍の再発？と考えたが、患者が婦人科的診察を受け入れない。下肢の開脚制限があるため、往診での診察は限界がある。ようやく大学病院に受診の結果卵巣腫瘍と診断。急速に成長して痛みが増したため、手術的に摘出することになったが、筋ジストロフィーの合併症で呼吸機能が極度に低下、術後の呼吸機能回復に難があると麻酔科から指摘を受けて、それでも5月に婦人科で手術。その後恐れていた合併症が発生。術後のイレウスにて7月再度の開腹手術。更には癒着による腸管—腔瘻により緊急避難的に人工肛門をS上結腸に造設。8月上旬にはストマ部の筋肉の盛り上がり不足から便汁がパウチ内に滞留して、それが感染を引き起こしたため、大量の抗生物質を併用するに至った。患者はよく耐えたが、合併症が多く、退院のめどが立たない状況であった。患者は若年時から難病に陥ったためか、精神的には幼稚な面があり（失礼な表現ですが）人工肛門造設時から帰宅願望を叫び続けて病棟看護師も困り果てる事態に至った。患者の精神状態を鑑みて出来れば在宅医療をとの方針がうち出され、担当かかりつけ医として私も幾度か退院へ向けての院内カンファランスに参加。神経内科・婦人科・介護支援事務所在宅酸素業者などと協議を重ねた。私は真っ向から退院反対を主張した。患者の姉が職を失うことになることを危惧したからである。しかし患者自身の帰宅要求は強く、断食するなどの抵抗を見るに及んで、一旦帰宅させることに、結局は決定。

在宅生活の必要条件は

- 1、食事介助 ベッド挙上して嚥下確認。一日2回。服薬確認
- 2、排せつ介助 ベッド上にてオムツ交換
- 3、咽頭部～喉頭部吸引 ; 必要時（患者希望時）

- 4、在宅酸素吸入 全身麻酔後の呼吸機能回復は遅延していた。
- 5、体位変換 ; 必要時
- 6、人工肛門部 ストマ処置 ; 必要時
- 7、身体清拭

最低限度これだけの介助が必要で、一開業医で遂行できるものではない。患者の姉の努力があって、従来から関与していた在宅支援センターと複数の事務所からスタッフ派遣のやりくりを考えて、とりあえず試験的に9月6日自宅に帰還した。姉は休みをとって、妹に付き添ったが、案の定 帰宅するなり体位変換の要求が頻繁であり、介護支援の手が及ばない夜間は姉独りが不眠不休状態となり、私が9月8日に夜診後に往診した時は姉自身が食事もとれず寝込む状態であった。患者の喉頭吸引要求も頻回、食事介助も患者の嚥下運動の不備と食欲自体が乏しいこともあって、皮膚も乾燥して脱水状態に近いと判断した。僅か2日間の在宅期間であったが、患者自身と姉に、即刻病院に再入院が必要であるとの判断を告知した。夜間であったのでせめてもう一夜様子を見たいと姉も言うので、後事を翌日9日の支援事務所に託する形になった。

翌日の担当ケアマネージャーからかねての約束通り救急扱いで大学病院が受け入れることを表明してくれたので、土曜日ではあったが午前中に病院に搬送する運びとなった。患者は姉の消耗ぶりを目の当たりにしておとなしく従った。実は患者は定期的に歯科医師による往診歯科治療を必要としていて、入院するまでは在宅にて治療を継続していたのであるが、歯科診療は嫌がらずに、むしろ楽しみに、退院後は往診再開と楽しみにしていた節がある。その歯科医師には経過説明をして了解を得た。訪問診療の一環である。

在宅医療は殆どの場合、症状が安定していることが必要で、今回の症例の如く急変する条件が揃い過ぎて？いる患者の場合は、介護支援の複数の関与が絶対必要であることを痛感した。医師が往診して加療方針を指示するについては、基本的に必要であるのだが、患者は毎日の日常生活が24時間自宅で続くのであるから、年中当直体制の組める施設でないと、受け入れは不可能であると、改めて確信した。

在宅療養の患者は今後とも必ず増加すると思われる。開業医は在宅医療に特化した施設でないと24時間介護の必要な患者には対応できない。ましてや、殆どの開業医は自身が高齢化しているのであり、何時自らを介護される側に身を置くかも知れないのデスヨ。患者さんとの長い年月にわたる付き合いがあると、その流れに乗って在宅医療を引き受けることになるが、冷静に、出来るかどうかを判断すべき時は必ず到来する。しかし、かような患者をどこで面倒を見るのが適当であるのか、解答は得られていない。

患者は自己の病気の進行の深刻さにたじろぎ、必死に治療の辛さに耐え、病棟スタッフの多くのマンパワーに助けられ、それでも自宅に帰りたいと切望し、狭い我が家の寝室に落ち着くはずが、体調の回復は本人の望み通りには至らないことを痛感して、本人なりに悲痛な決意を姉に示したのだと、私は思う。その意味で、本当に患者に寄り添うことの出来る態勢を現在の介護医療では組めないと痛感した。社会全体で取り組むべき問題が急がれると思い、無力感にさいなまれる。

2023年9月18日

西川 昌樹

<新しい仲間>2023年9月末時点 会員数 91名

須磨区 11485 本多智恵子さん 西宮市 11572 菅沼道子さん

<みんなの広場>

- ★(11542 Y. T) 総会の案内ありがとうございます。東京本部より振込用紙が届かず、催促の連絡をいたしました。こーか月、体調が少し悪くなり歩くのがつかれます。
- ★(3268 O. Y) 44歳でPMを入れ、来年あたりに6回目の手術の体力が少し心配ですが。
- ★(10399 M. M) 役員のみなさんは、どのようにされているのですか？
- ★(7446 N. K) 武庫川の上流、川の堤防に植えた三田の桜。30年前に植えた桜が今満開です。
- ★(9561 M. H) 毎年、総会の案内をいただき、ありがとうございます。勝手ながら欠席させていただきます。総会の盛会をお祈りします。今年でペースメーカーをいれて、13年目になります。ポチポチ入れ替えの時期が来ております。
- ★(7909 T. T) 楽しい皆様とお会いできますのを目標に頑張ります。
- ★(9438 M. K) 体調は普通です。総会に出席します。
- ★(11376 O. K) PMIにも次第に慣れてきています。居合いの練習もできるようになりました。
- ★(4833 W. T) PMそのものは何ら問題はありません。外科、耳鼻科、皮膚科、眼科等の医者通いで困っております。PMは、3ヶ月に一回のチェックをしています。
- ★(8595 N. S) 私は88歳で免許を返納してから脚力が弱くなり、現在要支援1で、週一回医療法人の支援センターで運動しております。自分で動くことが不可能ですから欠席します。
- ★(6459 A. K) 電動車椅子(時速6Km)で走行していると、3月頃から川沿いの道に大変美しいすみれの花が咲いていました。自転車で通っていたころは気付かなかったようです。2m位自生しています。
- ★(8723 M. S) お世話になります。よろしく願い致します。
- ★(9929 Y. R) 近くの会場なので嬉しく思います。
- ★(7947 H. H) PMのお陰で心臓の方は調子がいいのですが、足が弱り、一か月ほど寝込みました。今は、杖や手押し車のお陰で少しは歩けるようになりました。ありがたいです。
- ★(11439 N. T) PMのおかげで、脈拍が30以下になる不安はなくなりましたが、狭心症はおともだち！いつまでのお付き合いか？早く身体から出ていってほしいですね。
- ★(10936 T. K) 昨年末、白内障の手術を両目完了。近くにピントを合わせているので新聞やスマホはよくみえます。暖かくなってきたので、ぼちぼち散歩の時間を増やしています。先日は桜の花見に久しぶりに行きました。
- ★(11485 H. C) 2023/03末の入会しました。皆さんよろしく願い致します。
- ★(11222 Y. K) いつもありがとうございます
- ★(9869 K. S) PMを埋め込んで11年になります。今年電池取り換えと言われています。取替要らずのPMがほしいものです。
- ★(10630 M. Y) さくらが満開の候、コロナで出かけることもありませんでしたが、孫一家とお泊り旅行に行けて、元気をもらいました。
- ★(11101 M. C) パースディーカードをありがとうございました。元気が出ます。感謝感謝です。皆様にお目にかかり、いろいろ沢山お話を聞かせていただきたく思っています。
- ★(5068 H. S) 短信ありがとうございます。うれしいです。いろいろとお便りを読ませていただいております。私は83歳でコーラスをしています。ミサ曲です。舞台が4/27です。毎年これがしまいかとおもつつ合唱しています。生きています。
- ★(11335 N. H) 総会資料をお送りいただきありがとうございます。毎日なんとか元気に過ごしております。今年もよろしくお願い申し上げます。
- ★(9059 T. H) 出席できなくて申し訳ありません。

★(4555 T. M)	PMを入れていても乳がん検診のマンモグラフィーができる医療機関が廃業してしまいました。次のところが見つかりません、そうゆう医療機関を紹介してください。
★(9665 H. M)	週一回のリハビリではなかなか効果がありません。忙しい時に役立てず申し訳ありません。
★(10039 N. K)	始めてPMを入れたのが2013年。10年経過して今年2023年に電池交換手術をしました。手術時間は一時間ほどでした。入退院で8日間、術後3日間は抗生物質の点滴を受け退院しました。短信楽しく読んでいます。コロナに気をつけましょう。
★(11474 K. K)	こんにちは、お仕事ご苦労様です。
★(9405 N. Y)	パースディーカードをありがとうございました。76歳になりましたが元気に過ごしております。昨年5月に脳梗塞になりましたが軽くて済み喜んでます。また、5/9にはじめてPM電池交換します。今年も元気に黒豆枝豆、大豆を作ります。よろしくです。
★(9944 I. E)	足の調子等一人で参加できる状態のないので申し訳ありません。元気で過ごしています、昨年10月に初の電池交換しました。
★(7476 O. R)	昨年12月に4回目のPM交換手術を受けましたが、術後の経過が悪く血種ができ痛みとお腫れが続き大変でした。今は正常に戻っています。交換では初めての経験でした。
★(9560 T. K)	好季節になってきました。健康管理に気を付けています。
★(8045 M. K)	体調をととのえて、出席できるようにします。
★(6553 Y. M)	いつもご案内くださりありがとうございます。
★(6033 H. K)	昨年、古希を迎え、仕事もさせていただいています。PMも20年以上になります。普通に生活できて感謝しています。
★(7484 N. K)	1/11に第五回目のコロナワクチンをうちました。20分過ぎ帯状疱疹になりました。かかりつけの皮膚科の先生は「5回目だけはワクチンを止めて欲しかった……市の方には伝えてましたけど」との皮膚科の先生の話でした。3月初めにやっと痛みが取れました。6回目は止めて欲しいとのことでした。
★(7476 O. R)	このところ、膝の痛みが出て、歩行困難しています。
★(8800 K. Y)	久しぶりに、桜の花を観に行きました。
★(11243 A. K)	出席予定でしたが、ほかの予定が入り欠席します。
★(9728 K. Y)	皆様とお会いできる日を楽しみにしています。
★(10765 T. K)	久しぶりに皆様とお会いできることを楽しみにしています。
★(8155 Y. H)	私の心臓膜症の手術は年齢的にできないと加古川市民病院の委員会で言われました。姫路の病院からマイトラクリップ手術の専門的にしていた先生が加古川市民病に来ることになり、手術を受け、今は良い方向に向かっています。(重症度から軽症度になりました)
★(11357 O. S)	ペンを持っていてもなかなか書くことが出来ず恥ずかしい限りです。体調がよくないため欠席します。
★(6012 K. M)	骨折して遠出が出来ず、友の会に出席できず残念です。
★(11285 K. N)	総会に出席します。
★(8303 K. M)	歩くことが苦手でしたが、椅子に座って、腿上げしたのをきっかけに苦にならなくなりました。
★(9282 N. M)	訪問看護リハビリやディサービスリハビリをしながら、入院手術やその後の療養と重なり、「かてている」は封も空けずに積読状態になってい仕舞いました。西川先生や岡田先生のご投稿のみ読んでいます。号もあります。

★(4046 A. E)	ご苦労様、感謝です。
★(11215 F. H)	老々介護をしつつ、散歩・家庭菜園・魚釣りを楽しんでいます。
★(8595 N. S)	青い鳥はがきを送ります。歩行困難で外出できませんが、娘に手続きをしてもらって送ることが出来るようになりました。
★(7947 H. H)	青い鳥はがき届きましたのでお送りいたします。お役に立てれば嬉しいです。
★(1700 K. H)	新緑の瑞々しい日々となりました。皆様には会のご活躍のこととお慶び申し上げます。私も年なりのマイペースで変わりなく過ごしております。ハースメーカーは順調です。感謝
★(8533 O. K)	一年ほど前から、脊椎間狭窄症で外出がままならず、今はリハビリに励んでいます。早く、旅行などに行きたいと思っています。
★(11439 N. T)	この数か月体調もよく、東海道五十三次の旅に行きたくなってきました。一回で20Kmの散策はもう無理、しかしなんとか日本橋に向け静岡・掛川から継続したいと、炎天下の下、毎日歩行練習に励んでいます。無理の利かない体となってしまいましたが、81歳まだまだ頑張ります。これからです。
★(6459 A. K)	集会を楽しみにしています。
★(11425 H. C)	ボツボツ過ごしております。
★(11542 Y. T)	妻の体調の関係で、急遽、引越しと妻の転院を急がねばならず、出席できず。とても残念です。東京清瀬市に引越しの予定で、15日前後も状況の予定のためです。今月中は神戸に在住予定です。私の病院(徳洲会)からも担当医が替わり、引継ぎなどで不安になって、転院の質問もあったのですが、残念です。
★(9438 M. K)	電池交換手術の二回目、前回うまくいかなかったので少し心配です。
★(4555 T. M)	いつまでも暑さが続きます。まだ仕事をしています。15日は仕事の日なので欠席させていただきます。
★(9728 K. R)	今年は猛暑で大変ですね。お盆明けから風を引き大変な思いをしました。今のところ体調も良くなり、元気に暮らしております。
★(4833 W. T)	毎回、是非とも出席したいと予定しておりますが、体調が昨年6月末より、極めて悪く、動きがとれません。5~6種類の病名を持って、頑張ってはいますが思うように体が動いてくれません。幸いにPMだけは一度もトラブルなく、もうすぐ5台目を入れ替えます。ありがたいことだと感謝しております。
★(10630 M. Y)	一応、元気しております。9/11~数日入院して白内障の手術を受けます。手術入院事前説明や検査のため暑い中、老体に鞭打って頑張っております。
★(11474 K. K)	いつもありがとうございます。元気しております。
★(4441 A. Y)	コロナにもかかりましたが、元気しております。
★(5068 H. S)	私もコロナさんが体の中に入ってきました。7/14に陽性になり、7/25病院検査、そのまま入院、たいへんです。皆様に一杯お世話になり8/4に退院。今ようやく元気になりました。また、命をいただき感謝です。
★(6855 K. R)	朝夕吹く風にやっと秋の気配を感じるようになりました。私自身、いつの頃からわからないのですが、気管支拡張症が年齢と共に進み、無理できなくなりました。追伸、「青い鳥はがき」を別便で送りました。
★(3268 O. Y)	当日、所用があり欠席します。猛暑の中、孫の世話でくたくたでした。盛會を祈ります。
★(4046 A. E)	猛暑の続く今日この頃ですが、ご健勝のこととお慶びに存じます。どこからともなく50年で地球の気温が10℃上昇するという声が聞こえてくるのが、現実味を帯びてきました。大袈裟な言い方をすると人類が滅亡の危機に立たされていることになるのでしょうか？鉄が野に放置されたままだと徐々に酸化されて錆びていくと同様に、人間の体も年を取ると錆びてゆくわけです。それを防ぐ原理・方策を探求しています。

- ★(6033 H. K) 出席しなかったのですが、仕事が入っており残念です。すずしい秋が待ち遠しい毎日です。
- ★(11101 M. C) 先約の変更が生りましたので、出席します。定年後の夫のサポートで、体調に合わせて毎日を過ごしております。
- ★(9259 K. H) この暑さの中、何とか元気で過ごしています。
- ★(9944 I. E) 9月の声にも、気温の反応は鈍く、暑さの日々です。足痛のため欠席させていただきます。口だけは元気にさせていただいております。
- ★(11152 I. T) お陰様で順調に過ごせますことを感謝しております。15日は東京にいる娘のところに行ってますので、参加できません。皆様どうかよろしくお伝えください。
- ★(11178 T. A) 8月の終わりごろより逆流性食道炎のような症状があり、又定期的な血液検査で肝臓の数値が悪く病院に通う日常でしたが、症状もだいぶ良くなりましたので参加させていただきたいと思います。皆様とお会いできるのが楽しみです。
- ★(4046 A. K) 盛会をお祈りいたします。
- ★(6012 K. M) 外に出て歩くのは腰が痛くて、又いろいろ病が出て病院通いをしています。
- ★(6763 N. R) さいきん耳が遠くなり、補聴器をつけました。20年ほど前に突発性難聴を患い。左耳を失調、不便を感じるようになりました
- ★(11218 K. S) 私は、昨年7月と今年6月に大きな手術をしましたが、やっと落ち着いてまいりました。
- ★(11376 O. K) 何とか元気に暮らしております。皆様とは初めて対面でお話しできると持っていたましたが、他の用事が出来て欠席します。
- ★(10887 N. H) 昨年は入退院を繰返し、今年の正月は病院で暮らしていました。心不全を起こしました。現在は小康状態を得て、元気に日常生活を営んでおります。小野市の平出富美子さんに教えていただいた刺し子ボチボチと作っています。この夏は野菜作りは早々に枯れたりとあまりなりません。今はなすびとサツマイモだけです。いろいろと感謝しております。

＜投句コーナー＞

- | | |
|-------------------|----|
| 再婚の姪に祝いをちと迷い | 慶雄 |
| あらかたは「女生徒」しゃべる同窓会 | 慶雄 |
| 窓越しの塔頭若葉に包まれて | 昌樹 |
| 怪我しても母のまじない痛み飛ぶ | 重坊 |
| 怪我よりも骨折の有無妻は問う | 重坊 |
| 木枯らしや山辺の落ち葉渦巻きぬ | 榮一 |
| 撫子花風に飛ばされ池に散る | 榮一 |
| 我が庭に今年もきらり蝉がらや | 榮一 |

編集後記

「今年の夏は、いつもより暑い。」この言葉を幾度吐いたかことかさすがに10月ともなれば、朝夕過ごしやすくなりました。コロナ禍で、中止していた集會もほぼ元通り開催できるようになりました。懐かしいみなさんやその間に入会された新しい人ともお会いできてうれしく思っています。非日常が日常に戻って、本当に感無量です。

「お便り」お待ちしております！



小林重文 記